

<全体分析>

試験時間 2科目で120分

解答形式

記述式, 選択式, 論述式, 計算

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・**やや減少**・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

昨年同様, 大問4題(理論分野2題, 有機分野2題)であった。

昨年に比べて論述問題が3問から2問に減少し, 計算問題が6問から4問に減少した。

その他トピックス

昨年に引き続き, 計算過程を記す問題が出題されなかった。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	記述 計算	単体と化合物 結晶	化学基礎 化学	14族の単体と化合物の性質, 非晶質, ケイ素と高温型クリストバライトの結晶格子	標準
2	記述 選択 論述 計算	気体	化学	ファンデルワールスの状態方程式, 実在気体の状態変化, 実在気体と理想気体のずれ 【論述】温度一定で体積を小さくした場合の, 実在気体の圧力変化を示すグラフの選択理由(字数制限なし) 【論述】圧力一定で温度を低くした場合の, 実在気体の体積変化を示すグラフの選択理由(字数制限なし)	標準
3	記述	有機化合物	化学	ヨウ素と有機化合物の反応, 分子式 $C_8H_{10}O$ の芳香族化合物の構造と反応, ヨードホルム反応の化学反応式	標準
4	記述 選択 計算	高分子化合物	化学	陽イオン交換樹脂, 高吸水性高分子, 導電性高分子, 生分解性高分子	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・教科書の発展内容を題材に出題されることもあるので, 教科書をしっかりと読んで基本事項から確認しておこう。
- ・論述問題の対策は, 用語や現象の内容を深く理解して, キーワードとなる用語を用いて説明できるように練習をしておこう。
- ・煩雑な計算を伴う問題が出題されるので, 素早く解答の方針を立てて, 計算を実行する練習をしておこう。
- ・目新しい題材の出題もいくつか見られるが, 問題文を正確に読めば解答できる問題である。日頃の問題演習で, 問題文の意味を正確に読み取る練習をしておこう。